

東京オリンピック「世界最終予選」派遣の再評価について

「2020年東京オリンピック」日本代表選手選考基本方針に基づき、選考ステップを進めてきており、去る3月25日～26日、戸田ボートコースにて行われた「日本代表候補選考レース」の結果を評価し、5月に実施予定の世界最終予選への派遣を見送りする旨、公表いたしました。

次のステップとして「最速のクルーを作るためにクルーを再編成する可能性もあります」との基本方針に則り、4月の代表候補合宿にて最速のクルーを選出し評価する予定ですが、派遣対象大会に世界最終予選を改めて加えることにしましたので、お知らせいたします。

1. 世界最終予選への派遣を再検討する理由

オープン種目強化は日本ボート界における喫緊の課題であり、小艇のスピードアップを企図し、ペアの組合せを変えて最速のペアを編成し、アジアオセアニア大陸予選に出場するクルーと比較ならびに評価を行うため。

2. 比較評価方法

- (1) 4月9日に評価レースを実施する。
- (2) 代表候補として選考したペア男子3クルー、女子2クルーの中で、それぞれペアの組み合わせを変え、最速のペアを再編成し、アジアオセアニア大陸予選出場クルーと比較する。
- (3) 種目間の比較を行うために%IDTを指標とする。

3. 派遣基準について

4月9日の%IDTを基準とし、再編成後のペアが、アジアオセアニア大陸予選で1位となったが出場権を確保できなかった場合に世界最終予選に派遣されるクルーの%IDT以上であること。

以 上